

# NY マーケットレポート (2019年3月8日)

## 2019年3月8日 (金)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	21025.56	-430.45	5.05%	USD/JPY	111.15	111.65	110.79
ハンセン指数	28228.42	-551.03	9.22%	EUR/JPY	124.85	125.03	124.28
上海総合	2969.86	-136.56	19.09%	GBP/JPY	144.66	146.19	144.32
韓国総合	2137.44	-28.35	4.72%	AUD/JPY	78.30	78.41	77.73
豪ASX200	6203.76	-60.12	9.87%	NZD/JPY	75.62	75.70	75.02
インドSENSEX	36671.43	-53.99	1.67%	EUR/USD	1.1233	1.1246	1.1185

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7104.31	-53.24	5.59%	NY GOLD	1299.30	+13.20	1.2%
仏CAC40	5231.22	-36.70	10.58%	NY 原油	56.07	-0.59	23.4%
独DAX	11457.84	-59.96	8.51%	CBOTコーン	364.25	+1.00	-2.9%
スペインIBX35	9129.30	-120.60	6.90%	CRB指数	180.672	-0.199	-1.1%
イタリアFTSE MIB	20484.39	-213.17	11.79%	ドル指数先物	97.370	-0.297	1.3%
南ア全株指数	55488.79	-369.10	5.22%	VIX指数	16.05	-0.54	-36.9%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	25450.24	-22.99	9.10%	CBOE Bitcoin(先物・期近)	3860	3865
S&P500	2743.07	-5.86	9.42%	CME Bitcoin(先物・期近)	3865	3875
NASDAQ	7408.14	-13.32	11.65%	Ripple (BSTP)	0.308	0.313
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	Ethereum (BSTP)	135.42	137.40
トロント総合	15996.21	-60.30	11.68%	Bitcoin Cash	128.61	130.30
ボルサ指数	41586.70	-55.14	-0.13%			
ボベスパ指数	95364.85	+1024.68	8.51%			

※一部暫定値

3/11 経済指標スケジュール	
08:50	【日本】2月マネースtockM2・M3
15:00	【日本】2月工作機械受注
16:00	【ノルウェー】2月消費者物価指数
16:00	【ノルウェー】2月生産者物価指数
16:00	【ドイツ】1月鉱工業生産
16:00	【ドイツ】4Q労働コスト
16:00	【ドイツ】1月貿易収支
16:00	【ドイツ】1月経常収支
16:00	【トルコ】4Q GDP
16:00	【トルコ】1月経常収支
16:30	【フランス】2月企業センチメント指数
21:30	【米国】1月小売売上高
23:00	【米国】12月企業在庫

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.146%	-0.142%
5年債	-0.152%	-0.142%
10年債	-0.033%	-0.007%
30年債	0.585%	0.621%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.069%	0.067%
英国10年債	1.189%	1.172%
フランス10年債	0.410%	0.420%
米国債利回り		
2年債	2.461%	2.473%
3年債	2.436%	2.444%
5年債	2.430%	2.440%
7年債	2.520%	2.537%
10年債	2.628%	2.639%
30年債	3.012%	3.026%

3/11 主要会議・講演・その他予定
・ 欧州議会本会議 (~14日)
・ ユーロ圏財務相会合
・ 米3年債入札

## NY 市場レポート

### ◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、序盤に発表された米雇用統計で、非農業部門雇用者数の伸びが予想以上の低下となったことを受けて、ドルは一時軟調な動きとなった。しかし、失業率や賃金が予想以上に改善したことから、ドル円・クロス円は値を戻した。ただ、終盤まで上値の重い動きが続いた。

### 主要な米経済指標結果

#### 2月の米雇用統計の結果

失業率 3.8% (予想 3.9%・前回 4.0%)

非農業部門雇用者数 +2.0 万件 (予想 +18.0 万人・前回 +30.4 万人⇒+31.1 万人)

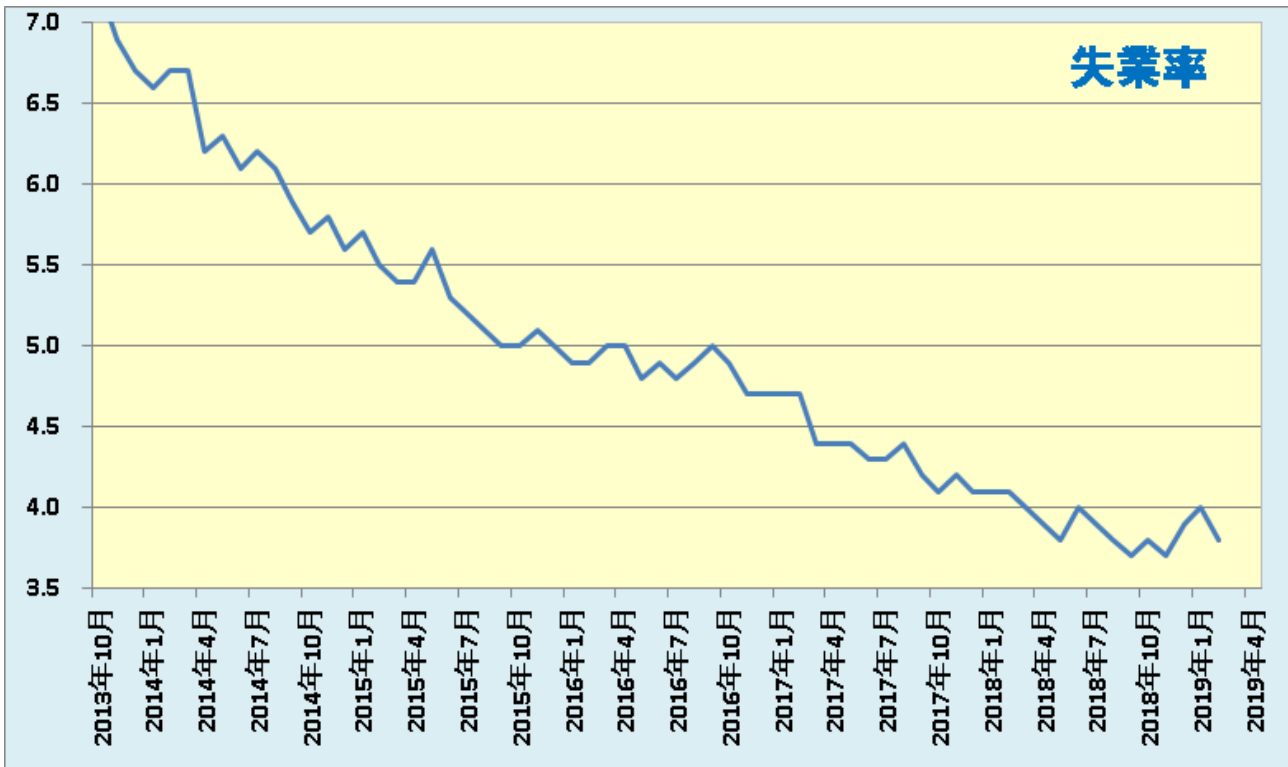
民間部門雇用者数 +2.5 万件 (予想 +17.0 万人・前回 +29.6 万人⇒+30.8 万人)

製造業雇用者数 +0.4 万件 (予想 +1.2 万人・前回 +1.3 万人⇒+2.1 万人)

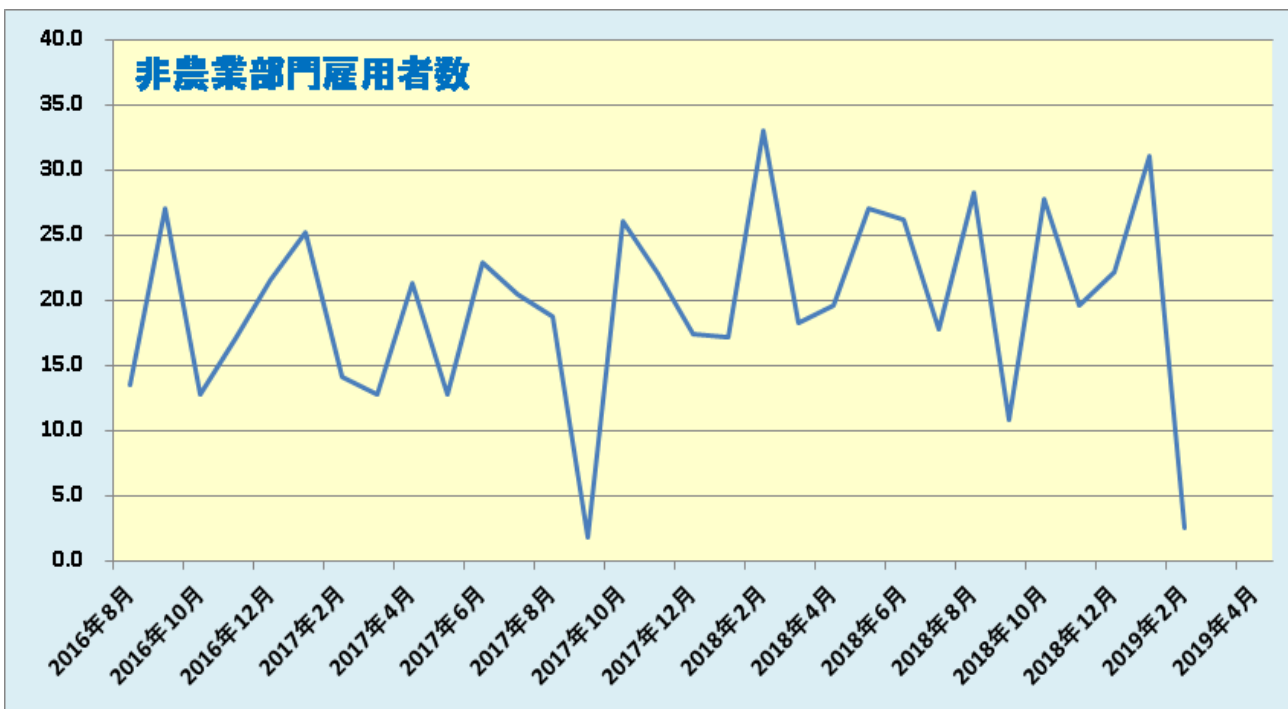
平均時給 (前月比) 0.4% (予想 0.3%・前回 0.1%)

平均時給 (前年比) 3.4% (予想 3.3%・前回 3.2%)

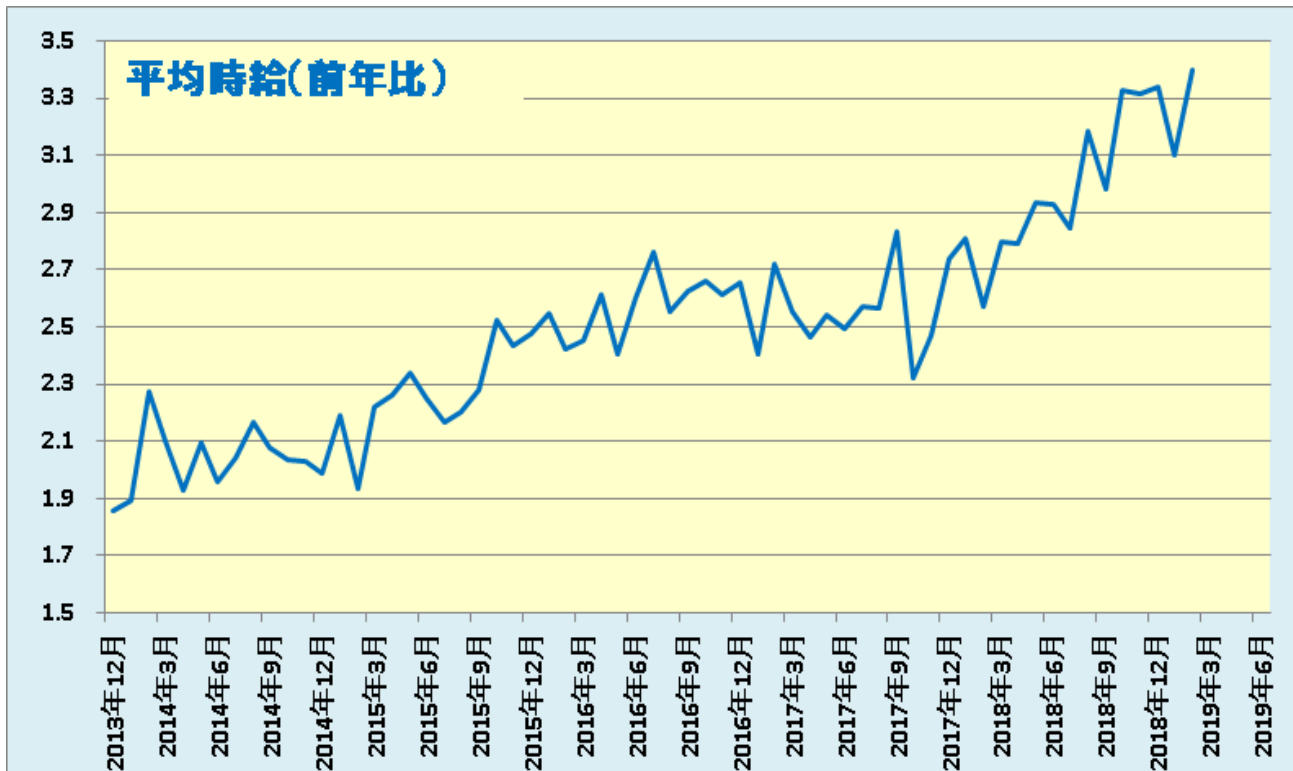
2月の米雇用統計では、景気動向を敏感に映す非農業部門雇用者数が市場予想大きく下回る結果となり、2017年9月以来、1年5ヵ月ぶりの低い伸びとなった。一方、失業率は予想以上の改善となった。また、FRBが雇用者数や失業率と並んで重視する平均時給は、前月比、前年比ともに市場予想を上回る伸びとなり、特に前年比ベースでは、伸び幅が2009年4月以来の高い伸びとなった。統計データを見ると、雇用者数では建設業や小売業で前月から伸び幅がマイナスとなったことや、製造業や流通業、教育・医療、レジャーなどで前月から伸び幅が大きく低下した。



データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成

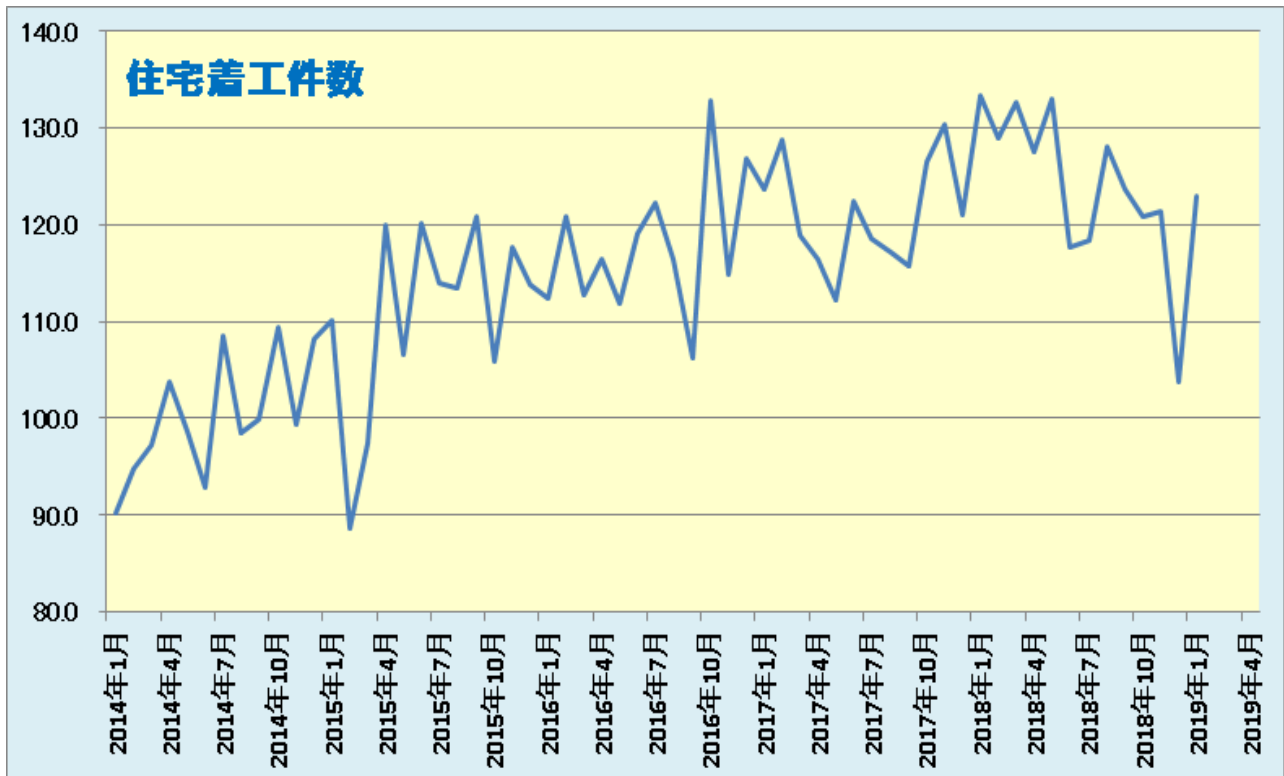
1月住宅着工件数 123.0万件 (予想 118.4万件・前回 107.8万件⇒103.7万件)

1月住宅着工件数(前月比) 18.6% (予想 9.9%・前回 -11.2%⇒-14.0%)

1月建設許可件数 134.5万件 (予想 128.7万件・前回 132.6万件)

1月建設許可件数(前月比) 1.4% (予想 -2.9%・前回 0.3%)

4ヵ月連続の低下となっていた一戸建て住宅が+25.1%の92.6万件となり、全体を押し上げる要因となった。一方、集合住宅も前月の大幅減少から+2.4%の30.4万件となった。ただ、前年比で-7.8%だった。そして、着工件数の先行指標となる建設許可件数も、市場予想を上回る結果となり、住宅市場の改善の兆しが見られた。



データを基に SBILM が作成

### 米主要株価は5営業日続落

米株式市場は、序盤に発表された2月の米雇用統計で、非農業部門雇用者数が市場予想を大きく下回る結果となり、1年5ヵ月ぶりの低い伸びとなったことが嫌気されたことを受けて、主要株価は序盤から軟調な動きとなり、5営業日続落となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比220ドル安まで下落した。その後は、買い戻しの動きが続き、結局22ドル安で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、序盤に1%以上の下落となったが、結局0.1%安の13ポイント安で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	石油・ガス	-0.73%	1	エクソン	-1.43%
2	消費財	-0.45%	2	ファイザー	-1.21%
3	消費者サービス	-0.35%	3	キャタピラー	-1.09%
4	ヘルスケア	-0.15%	4	コカ・コーラ	-0.97%
5	資本財	-0.10%	5	メルク	-0.81%

データを基に SBILM が作成

## ドルは底固い動きとなったが、ポンドは軟調な動きが続いた

序盤に発表された米雇用統計で、非農業部門雇用者数の伸びが予想以上の低下となり、1年5ヵ月ぶりの低い伸びとなったことから、ドルは軟調な動きとなった。ただ、失業率や賃金が予想以上に改善し、特に、前年比ベースの賃金の伸びが2009年4月以来の高い伸びとなったことが下支え要因となった。ただ、その後は終盤まで上値の重い動きが続いた。一方、メイ英首相が「EU離脱問題に関する来週の議会採決で離脱案が否決されれば、EU離脱は成し遂げられない可能性もある」と発言したことから、ポンドは上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。